



成田空港南R.C.会長テーマ

ゆかり
縁

例会日時 毎週木曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニング 富士屋



事務局 〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178

URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>
E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

第2790地区ガバナー 得 居 仁 第6分區ガバナー補佐 小 林 信 雄

平成25年3月14日発行 NO.2044 第2172例会 会長 石田 喜一 幹事 渡辺 孝文 会報担当 倉石 昌治

例会報告(平成25年3月14日)

点 鐘 会 長 石田喜一
ソ ン グ 「それでこそロータリー」
唱 和 「四つのテスト」
会 長 挨拶 会 長 石田喜一
会 務 報 告 会 長 石田喜一
幹 事 報 告 幹 事 渡辺孝文

プログラム

お客様紹介

東金RC会長 鈴木康道様
東金RC幹事 高橋邦夫様

各委員会報告

卓話 (土屋俊夫会員)

りで楽しかったですが、2泊3日の台湾での国際親善はいかがでしたか？都合で参加できなかった会員の皆様も雰囲気をお楽しみ下さい。
また本日例会終了後にクラブ管理運営委員会と古西年度の奉仕プロジェクト委員会があります。各委員会委員の方はよろしくお祈いします。

幹事報告

①例会変更のお知らせ

- ・佐原RC
4/11 (木) 夜間移動例会
点鐘18:30 亀甲堂
- 5/23 (木) 振替休会
- 5/19 (日) ~20 (月) 振替移動例会
静岡旅行

②会報受領クラブ

- ・佐原RC ・八日市場RC

③ハイライトよねやま156(2013年3月12日発行)が届いております。

④米山梅吉記念館館報(2013(平成25年)春Vo1. 21)が届いております。

会長挨拶



12日(火)はサケ稚魚の放流式に参加いただきました。栗山川へ放流した稚魚が太平洋を経て4~5年後に戻って来ることを期待して子供達と参加して参りました。当日は千葉テレビの放送もあったようです。

本日は台湾親睦旅行に参加しての会員卓話がありません。小林年度の東北への親睦旅行も大変な盛り上が

「奥様誕生祝」 小野田行伸夫人三月様



石田会長 / 小野田会員 / 渡辺幹事

委員会報告

◇次年度奉仕プロジェクト委員会



古西弘和会長エレクト先週もお伝えしましたが、次年度の奉仕プロジェクト委員会を開催いたします。財団補助金のお話しをしたいと思いますので、例会終了後、残って頂きこの場所で今年度のクラブ管理運営委員会と一緒にやりたいと思います。よろしくお願い致します。

◇おにぎり会 (同好会)



内田裕雄おにぎり会会長おにぎり会ゴルフコンペを4月11日(木)京カントリークラブで行う計画を致しました。4/11(木)は夜間例会ということですので、午前中はゴルフをして夕方夜間例会ということで、皆さんにご参加いただきたいと思います。よろしくお願い致します。

◇奉仕プロジェクト委員会



秋葉講一奉仕プロジェクト委員長12日(火)はサケの放流にたくさんの方にお出で頂きましてありがとうございます。4年後にはたくさんの方のサケが戻ってくると思っております。ありがとうございます。

◇ファミリー親睦コンサートのご案内



小川佐内会員(シーブリーズ)

お手元にご案内がいていると思いますが、私の店のシーブリーズでファミリー親睦コンサートを開催させて頂くことになりました。会長のたつのご要望で、たくさんの方に参加いただけるよう会費もだいたいお安く設定されております。ひとりでも多くの方に参加頂ければと思います。よろしくお願い致します。

日時 平成25年4月8日(月) 18:00~

会場 レストラン シーブリーズ (山武市蓮沼)

会費 3,000円(家族2,500円) お食事+1ドリンク

出演者 ピアノ:水岡のぶゆき シンガー: Camaru

成田空港南・東金RC 合同例会と親睦ゴルフコンペのご案内



東金RC 高橋邦夫幹事 / 鈴木康道会長(右)

既にご案内も届いていると思いますが、大勢の方にお越し頂きたく、再度ご案内に伺いました。ご協力よろしくお願い致します。

開催日 平成25年4月16日(火)

【親睦ゴルフコンペ】

場所 新千葉カントリー倶楽部

プレー費 通常14,720円

ビジター 11,255円 メンバー 8,840円

参加費 3,000円

表彰式 合同例会(八鶴亭)後の懇親会にて

【合同例会】

場所 八鶴亭

点鐘 18:00

例会終了後、引続き懇親会

■ 会員卓話

「台湾親睦旅行に参加して」



クラブ管理運営委員会プログラム担当
土屋俊夫会員

18名の参加者ととも台北へ行ってきました。コースは標準的でしたが、それなりに十分に楽しみました。今回の卓話は撮影した写真をプロジェクターにて投影しながら解説していきます。気楽に鑑賞してください。

(写真説明については省略)

旅行の行程は

2月28日 11:15 J L 0805便にて台北へ

3月1日

忠烈祠 中正記念堂

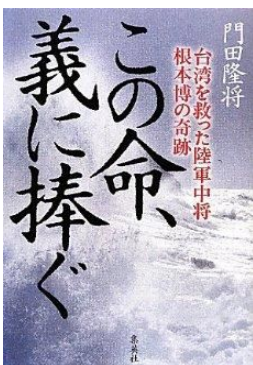
故宮博物院 龍山寺

夜 北京料理 カラオケ

3月2日 13:15 J L 0804便にて帰国するという結構忙しい旅でした。

台湾について最近読みました本を1冊紹介致します。

元日本陸軍北支那方面軍司令官根本博中将「この命、義に捧ぐ」です



昭和20年8月15日 日本は無条件降伏しましたが、中国大陸には多くの兵士、民間人がいました。根本中将はソ連軍及び共産軍相手に武装解除をってしまった場合は保護すべき在留邦人の生命財産を守れないとし、支那派遣軍総司令部の厳命といえども即時武装解除従わず、8月15日以降もソ連軍と熾烈な白兵戦を継続していました。武装解除は国府軍に対して行いました。その後根本司令官は内蒙古にいた4万人の在留邦人と北支那方面35万将兵の復

員を終了することができました。

その際、終戦後の日本同胞に対する蒋介石の恩義を一番知る事になりましたが、それは多くに日本人をシベリアに連れ去ったソ連のスターリンと人間としてあまりに異なっていました。

その後 国府軍は共産軍との内戦で劣勢に陥り、台湾へ追い詰められましたが、敗戦は濃厚でした。その時は蒋介石に恩義を感じていた根本元司令官は台湾へ密航した後、軍事顧問として台湾防衛のために活躍しました。金門島防衛に成功した後、共産軍の前進は停止して今日に至りました。

台湾の今日のあるのは一将軍の力が大きかったとの内容の本ですが、是非ご一読をお薦めいたします。

私の読書感、日本が無条件降伏をしたときはまだ台湾は日本の領土でありこれを主張できなかった、もちろん樺太を始め多くの領土がまだ日本に帰属していました。日本国が破れ国家の政治責任者が不在で、主権がない状態で国民を天に委ねるしかない状況の辛さを感じました。

その後サンフランシスコ条約でやっと日本が領土を放棄し問題の一部が解決しました。それはアメリカを中心とした48カ国との単独講和であり、ソ連は参加したが署名しなかった、中国は参加していませんでした。現在あるロシア、中国、韓国との領土問題は代々先送りされて今日に至りましたが、今後

も続くと思います。特に中国は近年日本領土縮小論が出てきて緊張が高まる恐れがあります。戦後の残された問題は終わったのではなく我々が解決する必要が生じると思います。

中正記念堂についてウィキペディアより転載します

中正記念堂は、中華民国の初代総統である蒋介石を顕彰し1980年に竣工した。中正記念堂の「中正」とは蒋介石の本名である。

正記念堂の敷地面積は25万平方メートルに上り、日本統治時代の山砲隊、歩兵第一連隊の軍用地跡地である。敷地の東側に位置する記念本堂の面積は約1万5千㎡で、西にある中国大陸を臨むように設計されている。建物の高さが70mにも及ぶ本堂には高さ30メートルの正門と他2つの門があり、その内部はメインフロアと地階に分けられている。メインフロアの奥には巨大な蒋介石の銅像が設置されており、銅像の上部には蒋介石の基本政治理念であった「倫理、民主、科学」という三民主義の本質が、像の土台には蒋介石の遺言がそれぞれ記されている。日中は像の両脇で儀仗隊が警護しており、1時間ごとに交代の儀式が行われる。なお、フロアの天井の最上

部には国章である「青天白日」の徽章が描かれている。

蒋介石を追悼する場であると同時に、中国文化・精神と中華民国の思想（イデオロギー）を示す場でもあるため、建物の各部分が様々なテーマに基づいて設計されている。

・屋根 - 北京の天壇を模して造られた本堂の屋根は八角形で、「忠、孝、仁、愛、信、義、和、平」の八徳を象徴している。また、「人」の字が重なって天に達するように見える設計もされており、これによって「天人合一」（天と人が一つになる）という中国の思想を反映している。その他にも、頂の黄金色が栄光ある昇華を象徴している。

・ひさし - 二重のひさし（簷）のことを中国語では「複簷」と言うが、この「複」は「復」と発音が同じであることから、中華民国の復興と大陸の回復（国共内戦で中華民国政府が失った中国大陸の領土の奪還）という目標を表している。

・階段 - 本堂の三方には花崗岩の階段が84段あるが、正面の階段にある5段を加えると89段になるので、これによって蒋介石の享年である89を表している。また、正面階段の中央には国徽（国の象徴）であることを示す「御路」（中国の伝統建築において、宮殿や廟堂にのみ用いられる参拝路）がある他、3層ある階段によって蒋介石と中華民国が奉ずる三民主義の「民権、民族、民生」を表している。

・基礎 - 3層からなる本堂の広い基礎部分は全て正方形であり、これによって蒋介石の本名である「中正」を象徴している。

・外装 - 本堂の外装は屋根瓦として用いられている青色の瑠璃瓦、壁に用いられている白色の大理石によって中華民国の国章である「青天白日」を表している。更には、記念館前の伝統図案による花壇も含めることによって、「自由、平等、博愛」を象徴する「青天白日満地紅」（中華民国の国旗の図柄）を表すような配慮もされている。ちなみに、「青天白日」は蒋介石が所属していた中国国民党の党章でもある。

・山並み - 敷地内にある国家戯劇院の屋根は「廡殿」、国家音楽庁の屋根は「歇山」と呼ばれる中国の伝統的な設計にそれぞれなっており、記念館の八角形の屋根を「主峰」として3つの山が立ち並ぶように配置されている。

蒋介石（しょう かいせき、蒋介石、1887年10月31日 - 1975年4月5日）は中華民国の政治家、軍人。孫文の後継者として北伐を完遂し、中華民国の統一

を果たして同国の最高指導者となる。1928年から1931年と、1943年から1975年に死去するまで国家元首の地位にあった。しかし、国共内戦で毛沢東率いる中国共産党に敗れて1949年より台湾に移り、大陸支配を回復することなく没した。

名は中正で、介石は字[1]。譜名（族譜上の名）は周泰、原名（幼名）は瑞元。学校では志清とも呼ばれた[2]。日本では蒋介石の呼び名で知られているが、台湾一帯では蔣中正（チアン・チョンチェン、蔣中正）の名称が一般的。欧米のメディアからは大元帥を意味するGeneralissimoとも呼ばれていた。英語表記ではChiang Kai-shek（チアン・カイシェック）。



■ ニコニコボックス

青柳誠君・土屋俊夫君

…台湾旅行楽しかったので

小林定雄君

…サケの放流がTVで放映されました

内田裕雄君

…台湾旅行ご苦労様でした

秋葉講一君

…サケの放流式にたくさんの方が来て頂いたので

渡辺孝文君・花澤昇一君

…サケの放流式ご苦労様でした

小野田行伸君

…奥様誕生祝ありがとうございました

本日計 12,000円

累計 693,000円

■ 出席報告

例会日	会員数	出席	MU	%
3月14日	38	27	3	78.95

☆ 欠席をしたらメーカーアツをしましょう ☆